

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**





88

6

た、他方のロード紙にはレシート用印字を行へ、さらには本体の下方から導入した單用紙(ハリツ用紙)に印字できるプリンタをベースに複合処理装置を構成する。このようなプリンタは、POSステーションを構成するプリンタとして適しており、商店やホテルなど多く用いられている。

を確保するために比較的高速で送ることが望ましく、印刷削除ときは比較的低速で紙送りを行い印刷品質を確保する方が良い。このようにそれぞれの機能に適した速度で搬送速度を設定することによって、それぞれの処理を確実に実現することができる。

装置(以下において「プリンタ」として参照する)の構成を示してある。本例のプリンタ10は、本体11の左右に延びた移動台12に沿ってプリンタヘッド(印刷ヘッド)13が移動しながらジャーナル印字、およびスリープ用印字を行う。本例のプリンタヘッド13は、たとえ

送速度を安定させるために、紙路に沿って磁気ヘッドの前後に第1のローラーと第2のローラーを設けることが望ましい。磁気ヘッドに面して单票用紙が通過する際は、单票用紙がそれらのローラーに保たれねばならぬが、かすめようにして、この動きと連動してヘッド押さえ部があるが磁気ヘッドを動かすことが可能である。10017)このようにヘッド押さえ部あるいは磁気ヘッドが移動する場合は、磁気ヘッドの移動方向に反対する

マイヤーをフランク14に向かって運動し、インクが紙をインクjetすることによって、ロール紙15あるいは裏書き用紙16に印字を行う。プリントヘッド13はタングルベルトやヘッド送り用のステップモーターを用いたプリントヘッド運動手段によって動かされ、フランク14に向かって運動し、インクが紙

10014] M/C Rデータの記録紙をさらに高めたために、紙箱内の磁気ヘッドと対向する位置に専用紙を磁気ヘッドの検出面に向かって圧迫可能なヘッド押さえ部材を設けておくことが有効である。紙箱内に挿入される専用紙は、しわがよっているもの、折り畳んだ跡には非磁性的部材を用いることが望ましい。また、磁気ヘッドとヘッド押さえ部材との間に隙間が開くので、隙間に紙粉等が入り込まないように、磁気ヘッドをいはヘッド押さえ部材の上部と紙箱の間にカバーをかけておくことが望ましい。

14に沿って左右に動いてロール紙15あるいは半葉紙16の所定の位置に印字を行う。ロール紙15あるいは半葉紙16は、後述するファードローラー等、おおむね半葉用紙16は、紙送り用のステップモーターなどによって構成され、紙送り機構によってプリントヘッド13の移動方向に沿って送られる。ロール紙15は本体11の後方11-bに

によって、結果的にミスを防止できる。このヘッドに押さえられるに耐えられず、革製用紙の送れる方向とは逆方向に並んで少なくとも2つの接着部分を剥けても良く、これらの接着部分の1つを磁気ヘッドと対向して設置することによって、磁気ヘッドと革製用紙との接觸度を確保でき、また、紙製用紙を導く方向を曲げられる曲率の範囲で設置することも有効である。絶縁の曲率によってテンションがかかる革製用紙のしわや、折り目を延ばすことができる。[0109] さらに、MICRデータの読取率を向上させるためには、磁気ノイズを低減することが重要である。そのためには、紙製用紙のスチーピングデータカードから紙の内側を露出する部分を除いて、紙の内側を露出する部分を露出する。

セットされ、後方11bからブランン14ヒブリンタンド13の間を通過して本体11の上方11cに導かれる。本体のプリント12は、2本のロール紙15をセッティングでき、床輪の送紙用のジャーナル紙および吸収紙と使用するレーザー印字機能である。

【0028】さらに、本例のプリントはMICRデータを含むバーコードチャックなどの専用紙16の処理も行えるようになっている。専用紙16は、本体11上に

Rデータを読み取りに必要な報道用のモーター以外は、止させることによって、磁気ノイズはかなり低減できる。さらに、報道用のモーターを強磁性材によることによって、モーター部の加圧バランスを調整できるようになります。これが最も効果的です。

の前方 110 に用意された用紙投入口 21 から、後述の紙路を通ってプリンタヘッド 13 とプリンタ 44 との間に迷かれ、印刷が終了した後は、プリンタの上方 110 から排出される。

〔0012〕以下の説明において、並用紙としてペーパー・ソナルチェック用紙を例にとって説明する。なお、本例のプリンタは、ペーパー・ソナルチェック用紙を用いる。

を抜けて磁気ヘッドの前方に位置する複数面に單葉用紙を押しつけながら搬送することも有効である。押さえローラーはフリーに回転させることのあつても良い。あるいは、搬送するときの抵抗をさらに減少するためには、紙路路に設けられた他の送りローラーと同期をとつて回転させておく。これによつて、單葉用紙の歪みや進行方向の曲がりを防止する効果がある。

[0016] これらを防止するヘッド押さえ部材は、MICRデータを読み取るとき以外は、單葉用紙を搬送する際の抵抗となり、用紙との接触によって摩擦熱となり、磁気ヘッドを熱損傷したり、用紙を焼くなどの接触による障害となり、磁気ヘッドを熱損傷したり、用紙を焼くなどの接触による障害となり、50 あるところから磁気ノイズの漏れしが大きくなってしまう。また、磁気ヘッドの前方と対向する位置からである。また、磁気ヘッドの後に高透磁率材料によるジールドによって、搬送部における磁束を低減するので、これによつても磁気ノイズを大幅にカットできる。

[0020] 本発明による複合処理装置を小型化するためには、紙路路を短くすることが望ましい。磁気ヘッドと印刷ヘッドとの距離を短くすれば紙路路を短くでき、さらに紙路路内や外は直角のいわゆるL型出入口用紙を55

る。MICR文字は文字形状と印字品質が規格化され、  
おり、また、バーソナルチェック上の印字位置も規格化  
されている。従って、バーソナルチェックの所定の範囲  
を磁気ヘッドでサーチすることによってMICR文字は











ある。

[図11] 本発明の異なる実施例の複合処理装置の磁気ヘッドの圧房を拡大して示す上から見た断面図である。

[図12] 図1に示す複合処理装置の機能ブロック図である。

[図13] 図1に示す複合処理装置の制御プロック図である。

[図14] 図1に示す複合処理装置によってベースナルチェックを被る紙の処理の流れを示すフローチャートである。

[図15] 図14に示すフローチャートのうち、用紙をセットする処理の流れを示す詳細なフローチャートである。

[図16] 図14に示すフローチャートのうち、MICRデータを読み取る処理の流れを示す詳細なフローチャートである。

[図17] 図14に示すオフローチャートのうち、読み取ったデータを確認する処理の流れを示す詳細なフローチャートである。

[図18] 図14に示すフローチャートのうち、用紙を抽出する処理の流れを示す詳細なフローチャートである。

[図19] 図14に示すフローチャートのうち、用紙をベースとした複合処理装置である。

1.1. プリンタ本体  
1.2. モータ  
1.3. プリンタヘッド

[図10] プリンタヘッドの断面図である。

[図11] プリンタヘッドの構造図である。

[図12] プリンタヘッドの構造図である。

[図13] プリンタヘッドの構造図である。

[図14] プリンタヘッドの構造図である。

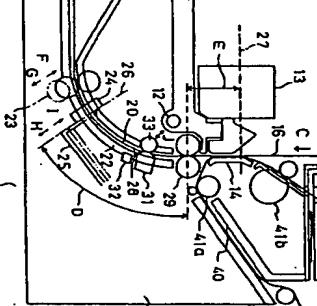
[図15] プリンタヘッドの構造図である。

[図16] プリンタヘッドの構造図である。

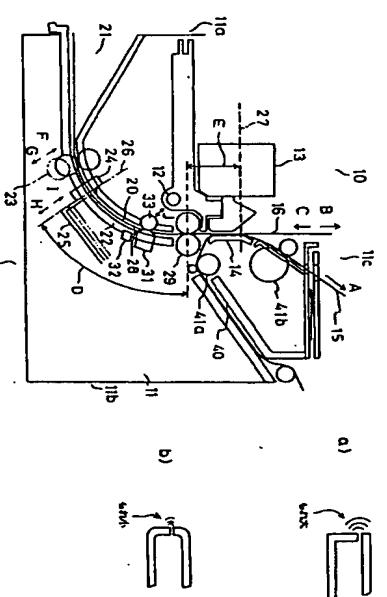
[図17] プリンタヘッドの構造図である。

[図18] プリンタヘッドの構造図である。

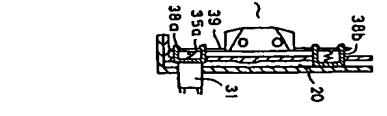
[図19] プリンタヘッドの構造図である。



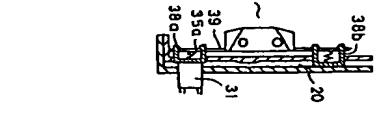
[図11]



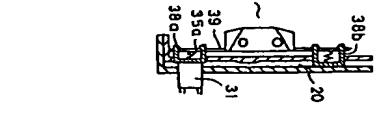
[図12]



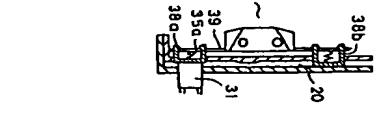
[図13]



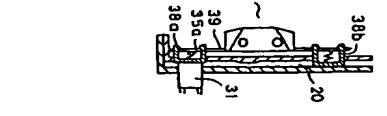
[図14]



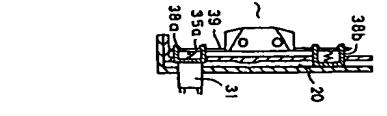
[図15]



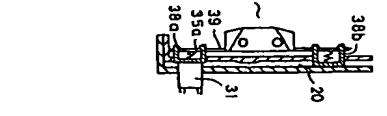
[図16]



[図17]



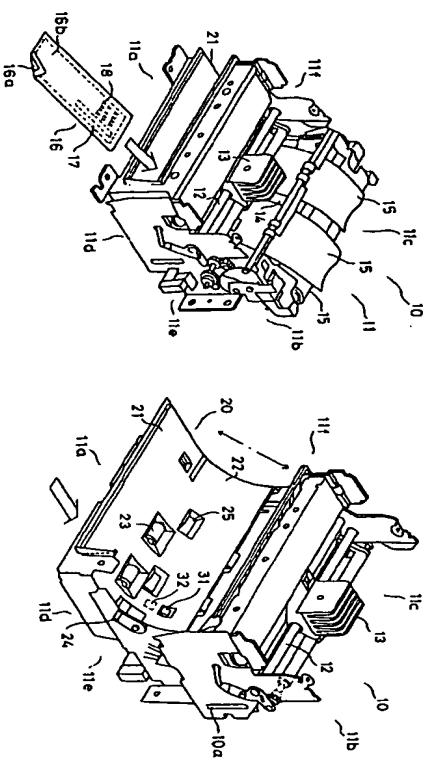
[図18]



[図19]

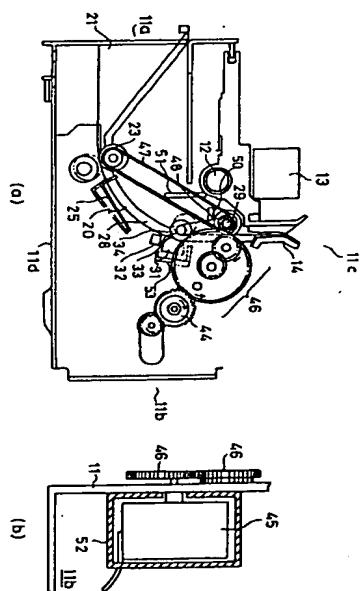
[図1]

[図2]

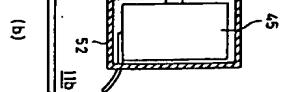


[図3]

[図4]

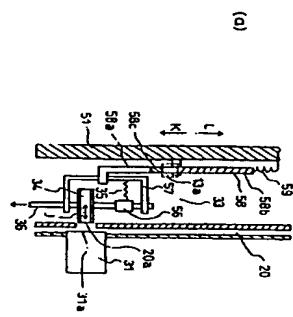


(a)

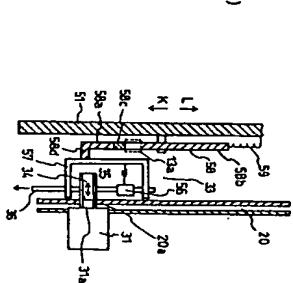


(b)

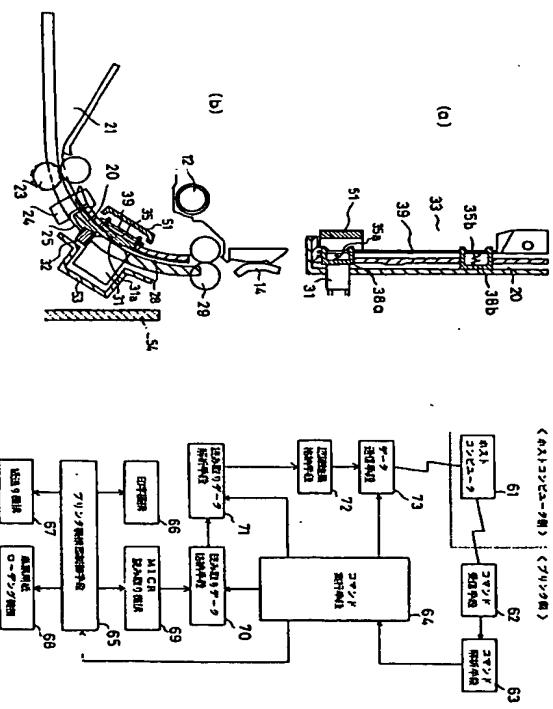
6



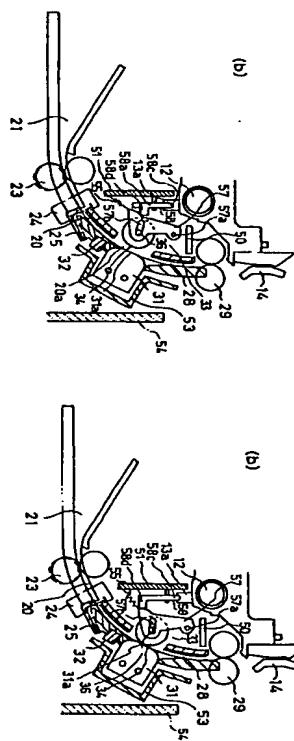
[87]



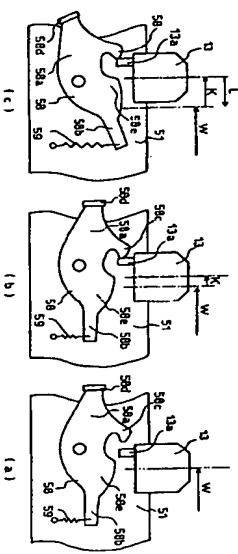
161



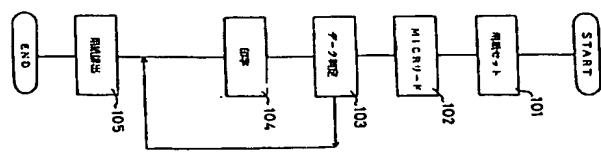
12



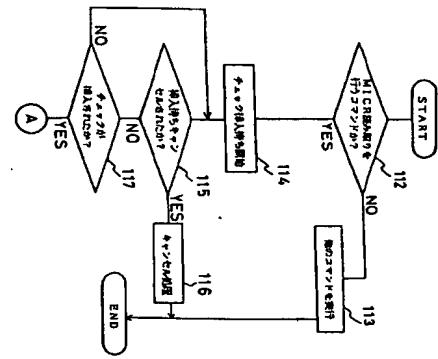
18



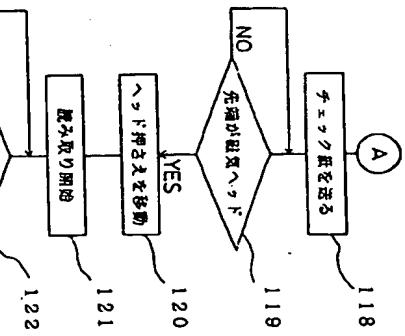
[図14]



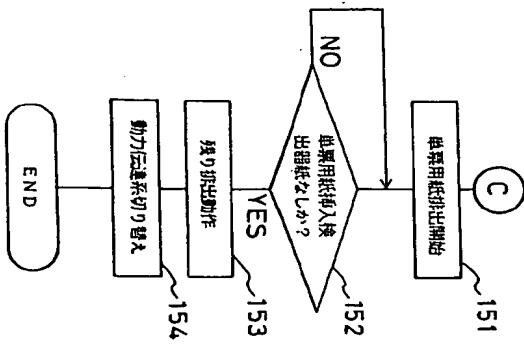
[図15]



[図16]

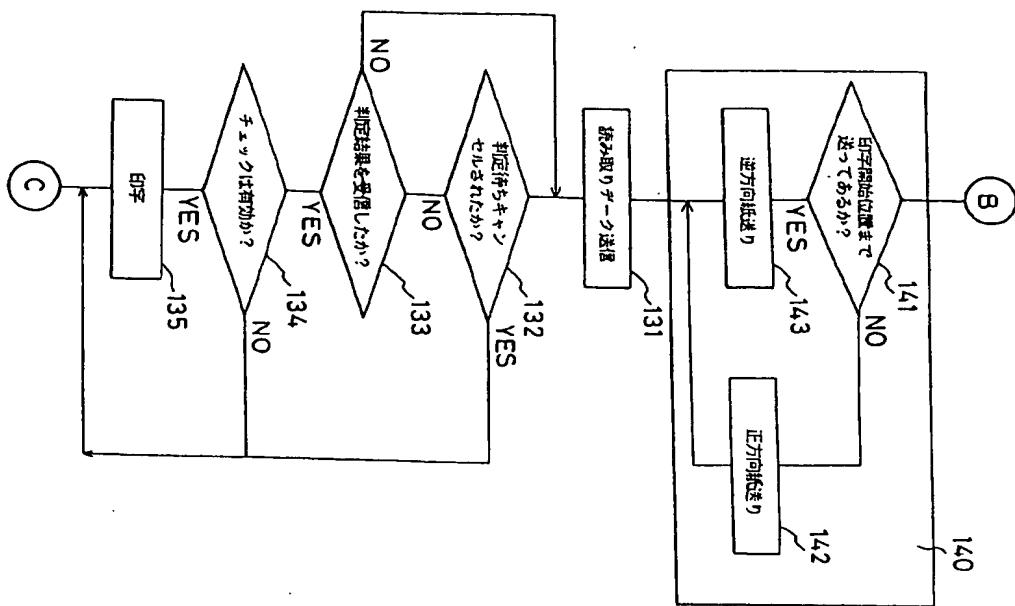


[図18]



[図17]

(72)発明者 今平 光明  
長野県飯田市大和3丁目3番5号 セイコ  
一エアソン株式会社内



フロントページの読み

(51)Int.Cl. G  
// B 41 J 11/42

特許記号 F 1  
B 41 J 11/42

技術表示箇所 A

【公報並列】特許法第17条の2の規定による特正の摘要  
【部門区分】第6部門第3区分  
【発行日】平成14年2月28日 (2002. 2. 28)

【公開番号】特開平8-235309  
【公開番号】平成8年9月13日 (1996. 9. 13)  
【出願番号】特願平7-166555  
【国際特許分类第7版】G06K 9/20 360 310

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

B41J 13/00 21/16 360 A 310 J  
G06K 7/08 // B41J 11/42

角の部分は離さない一体となった部材で形成されて  
いることを特徴とする複合処理装置。

【請求項9】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドの前方の突出面と対向する位置、およびこの吐気ヘッ  
ドの後方の少なくともいずれかに高透磁率材料によるシ  
ールドを有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項10】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドの前方の突出面と対向する位置に、前記单葉用紙の  
移動する方向に回転可能な押さえローラーを備え、これ  
により前記单葉用紙を前記吐気ヘッドに向かって圧迫可  
能な媒體押さえを有し、該媒体押さえは、前記押さえロ  
ーラーのシャフトに前記吐気ヘッドに当たって押圧する  
バネと、このバネが前記シャフトに取り付けられたスリーブを  
するよう前記シャフトに取り付けられたスリーブとを  
有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項11】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドに前記吐気ヘッドと前記印刷ヘッドとの基準位置に  
対応する、前記单葉用紙の相対位置を規定する单葉用紙案  
内手段を備えてることを特徴とする複合処理装置。

【請求項12】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッドの  
移動する方向に回転可能な押さえローラーを備え、これ  
により前記单葉用紙を前記吐気ヘッドに向かって圧迫可  
能な媒体押さえを有し、該媒体押さえは、前記押さえロ  
ーラーのシャフトに前記吐気ヘッドに当たって押圧する  
バネと、このバネが前記シャフトに取り付けられたスリーブとを  
するよう前記シャフトに取り付けられたスリーブとを  
有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項13】 請求項1又は2において、前記媒体押さえを  
有し、該媒体押さえは前記单葉用紙の送られる方向とは  
反対方向に並んだ少なくとも2つの接着部分を備  
え、これらの接着部分の1つが前記搬出面と対向してい  
ることを特徴とする複合処理装置。

【請求項14】 請求項1又は2において、前記单葉用  
紙を前記吐気ヘッドに向かって圧迫可能な媒体押さえを  
有し、該媒体押さえは前記单葉用紙の送られる方向とは  
反対方向に並んだ少なくとも2つの接着部分を備  
え、これらの接着部分の1つが前記搬出面と対向してい  
ることを特徴とする複合処理装置。

【請求項15】 請求項1又は2において、前記单葉用  
紙を前記吐気ヘッドに向かって圧迫可能な媒体押さえを  
有し、該媒体押さえは前記吐気ヘッドとの間隔を変更す  
る間隔変更手段を有し、該間隔変更手段によつて前記媒  
体押さえと前記吐気ヘッドの後出面とが開闊のある状態  
と開闊のない状態の少なくとも2段階に変更可能である  
ことを特徴とする複合処理装置。

【請求項16】 請求項1又は2において、前記单葉用  
紙を前記吐気ヘッドに送るための低速と、前記  
吐気ヘッドへ前記单葉用紙を送るための高速との少なく  
とも2つ搬送速度を備えていることを特徴とする複合処  
理装置。

【請求項17】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドに面して設置され、さらに、前記印刷ヘッドは前記  
单葉用紙の第2の底面に印刷可能なように設置されてお  
り、該底面の研磨成り方角と、前記印刷ヘッドの印  
刷方向とは面対することを特徴とする複合処理装置。

【請求項18】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドは前記印刷ヘッドに対し、前記吐気ヘッドへ前記单葉用  
紙を挿入する側に配置されていることを特徴とする複合  
処理装置。

【請求項19】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドのモーターと、このモーターを構成する媒体材によ  
るシールド材とを備えていることを特徴とする複合処理裝  
置。

【請求項20】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドのローラーと第2のローラーとを有することを特徴とする  
複合処理装置。

【請求項21】 單葉用紙を導く紙路と、前記单葉用紙  
の少なくともいずれかの面に対するように前記紙路に  
設置された、前記单葉用紙に配置されている底紙バタン  
を挿入する底紙ヘッドと、前記紙路を送られてくる前  
記单葉用紙の面の少なくともいずれかの面に対し印刷可  
能な印刷ヘッドとを有し、前

する動きと連動して前記媒体押さえと前記吐気ヘッドと  
の間隔を変更し、前記印刷ヘッドが前記一方の端に移動  
すると前記媒体押さえと前記吐気ヘッドとの間隔のない  
状態にすることを特徴とする複合処理装置。

【請求項17】 請求項1又は2において、前記底面変更  
手段は非磁性の部材によつて構成されていることを特徴と  
する複合処理装置。

【請求項18】 請求項1又は2において、前記底面変更  
手段は前記吐気ヘッドの少なくともいずれかの上部と前  
記紙路の底面を構成するカバーを有することを特徴とする  
複合処理装置。

【請求項19】 請求項1又は2において、前記紙路  
は、前記单葉用紙を導く方向を曲げられる曲率のある経  
路を備えており、前記吐気ヘッドは前記曲率のある経路  
に設置されていることを特徴とする複合処理装置。

【請求項20】 請求項1又は2において、前記紙路  
は、その插入口近傍で前記紙路内に出入りし、前記单  
葉用紙の前記紙路内への進入を一時的に禁止するフロ  
ームストッパーを備え、さらに、前記单葉用紙の底紙バ  
タンを再磁化するための磁石が前記フォームストッパー  
に対し前記吐気ヘッド側に、前記紙路に面して配置さ  
れることを特徴とする複合処理装置。

【請求項21】 請求項1又は2において、前記单葉用  
紙の底紙バタンを耳磁石化するための磁石が、前記紙路  
の曲率によって構成された部分に前記单葉用紙の通過す  
る面と反対側から埋め込まれていることを特徴とする複  
合処理装置。

【請求項22】 請求項21において、前記磁石は底紙  
石であり、底紙バタンを組み替えるときにのみ磁化され  
ることを特徴とする複合処理装置。

【請求項23】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドに面して設置され、さらに、前記印刷ヘッドは前記  
单葉用紙の第2の底面に印刷可能なように設置されてお  
り、該底面の研磨成り方角と、前記印刷ヘッドの印  
刷方向とは面対することを特徴とする複合処理装置。

【請求項24】 請求項1又は2において、前記吐気ヘッ  
ドは前記印刷ヘッドに対し、前記吐気ヘッドへ前記单葉用  
紙を挿入する側に配置されていることを特徴とする複合  
処理装置。

【請求項25】 前記媒体押さえは、前記吐気ヘッドと前記  
印刷ヘッドとの位置に応じて、前記吐気ヘッドが前記媒体  
押さえによって前記データを出力器に圧迫される位置  
に接続しながら挿出するデータ挿出器と、

前記印刷ヘッドに対し、前記吐気ヘッドへ前記单葉用  
紙を挿入する側に配置されていることを特徴とする複合  
処理装置。

【請求項26】 前記印刷ヘッドが前記媒体押さえが前記  
吐気ヘッドと前記印刷ヘッドとの間隔を変更する際の位置  
に接続しながら挿出するデータ挿出器と、

前記印刷ヘッドの位置に応じて、前記吐気ヘッドが前記媒体  
押さえによって前記データを出力器に圧迫される位置  
に接続しながら挿出するデータ挿出器と、

前記印刷ヘッドと前記吐気ヘッドとの間隔を変更する際の位置  
に接続しながら挿出するデータ挿出器と、

とする複合処理装置。

【請求項2-6】 請求項2-5において、前記開閉機構は、前記印刷ヘッドが所定の位置に移動したとき前記媒體押さえを開放位置に、前記印刷ヘッドが前記所定の位置以外に移動したとき前記媒體押さえを開放位置に移動させることを特徴とする複合処理装置。

【請求項2-7】 請求項2-6において、前記所定の位置は印刷範囲外に配置されたことを特徴とする複合処理装置。

【請求項2-8】 請求項2-6において、前記開閉機構は、前記媒體押さえを開放位置と開閉位置に切り替える切り替えレバーを有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項2-9】 請求項2-8において、前記切り替えレバーは、前記印刷ヘッドに当接して、前記媒體押さえを開放位置に移動せしめる第1の突部を有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項3-0】 請求項2-9において、前記切り替えレバーは、前記印刷ヘッドに当接して、前記媒體押さえを開放位置に移動せしめる第2の突部を有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項3-1】 請求項2-9又は3-0において、前記開閉機構は前記媒體押さえを前記印刷位置に復帰させる弹性部材を有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項3-2】 請求項3-1において、前記開閉機構は、前記媒體押さえに後退された軸と、

前記軸を前記データ後出器に対して付勢する第2の弹性部材と、

前記第2の弹性部材が前記軸に接する領域を覆うスリーブによって、前記軸位置に相当する第1の位置と、前記開放位置に相当する第2の位置とに移動するものとを有することを特徴とする複合処理装置。

【請求項3-3】 請求項2-5において、前記媒體押さえはローラーからなることを特徴とする複合処理装置。

【請求項3-4】 請求項2-5において、前記媒體押さえはヘッドからなることを特徴とする複合処理装置。

【請求項3-5】 單葉用紙を導く紙経路と、前記單葉用紙の少なくともいすれかの面に對するように前記紙経路に設置され、前記單葉用紙に記録されるいすれかの面に記録される、前記單葉用紙を送り出る前記紙経路を送り出する磁気ヘッドと、前記紙経路を送り出する前記紙経路の面の少なくともいすれかの面に対し印刷可能な印刷ヘッドとを有する複合処理装置を削除する方法において、

前記印刷ヘッドは、前記單葉用紙に印刷を行う場合に、前記單葉用紙の幅方向に所定の印刷範囲内で往復移動し、また前記磁気ヘッドが前記單葉用紙上の磁気バタンを検出する場合に、前記紙経路の幅方向の前記印刷範囲の外側の所定の位置に移動することを特徴とする複合

この工程と前後して前記磁気バタンの確認を行う工程

と、前記印刷ヘッドにより初期設定された前記單葉用紙の少なくともいすれかの面に對するように前記紙経路に設置された、前記單葉用紙に記録されている磁気バタンを検出する磁気ヘッドと、前記紙経路を送り出する前記單葉用紙の面の少なくともいすれかの面に對し印刷可能な印刷ヘッドとを有する複合処理装置を制御する方法。

【請求項4-1】 請求項4-0において、前記磁気バタンが有効であることが確認できたときは、前記印刷を行う工程において、さる、前記單葉用紙を前記紙経路から排出する工程と、前記磁気バタンの有効を確認できなかったときは、前記印刷を行う工程と、前記印刷から抽出する工程とを有し、前記確認を行う工程へ移行することを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-2】 請求項4-0において、前記單葉用紙を前記紙経路から抽出する工程と、前記印刷を行う工程において、前記印刷する工程と選択できることを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-3】 請求項4-0において、前記読み取る工程に先立ち、前記磁気バタンの読み取り開始を指示する工程と、前記印刷工程に応じて、引き継ぎ行われる処理を選択する工程とを有することを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-4】 請求項4-4において、前記單葉用紙を前記紙経路に挿入する工程と、前記印刷工程中に前記読み取る開始をキヤンセルする工程とを有することを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-5】 撃入口から挿入された記録媒体の有無を検出する工程と、

前記記録媒体を前記紙経路を送り出する工程と、前記紙経路を前記紙経路の面の少なくともいすれかの面に對し印刷可能な印刷ヘッドと、前記單葉用紙を前記紙経路に向かって圧迫可能な媒體押さえと、媒體押さえと前記紙経路を送り出する工程と、前記紙経路に記録された、前記單葉用紙に記録されている磁気バタンを検出する磁気ヘッドと、前記紙経路を送り出する工程とを有することを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-6】 請求項4-4において、前記所定の位置は印刷範囲外に配置されたことを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-7】 請求項4-4において、前記読み取る工程の後に、前記記録媒体を検出しながら前記印刷工程に付ける工程と、前記記録媒体を挿入する工程とを有することを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-8】 前記所定の位置は印刷範囲外に配置されたことを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-9】 前記所定の位置は印刷範囲外に配置されたことを特徴とする複合処理装置の制御方法。

【請求項4-10】 前記所定の位置は印刷範囲外に配置されたことを特徴とする複合処理装置の制御方法。